

JICA のシニアボランティアとしてトンガに赴任してもうすぐ半年になります。毎日空港にある気象局に通って、トンガの気象予報を皆さんに少しでもわかりやすく伝えられるようにと活動しています。

トンガの気候は穏やかに変化していきます。私がトンガに赴任した昨年の10月からいつの間にか真夏と呼ばれる12月～2月を過ぎ、気温は再び少しずつ下がりはじめようです。この間、毎日のように最低気温24～25℃、最高気温29～31℃の日が続きました。毎日のようにシャワーがあり、シャワーがあると涼しい風が吹いて少し気温が下がります。

日中はさすがに暑いと感じますが、エアコンのお世話になるような寝苦しい夜はありませんでした。家にエアコンはついていますが、お世話になったのは数日間だけでした。

そんな穏やかな季節変化の中で、トンガの首都があるトンガタブ島に、今年大きなサイクロンが来襲しました。

Gitaと名付けられたこのサイクロンは、フィジーとサモアの中間の海域で発生し、サモア、ニウエを通過して進路を西に変え、カテゴリー4の最大風速50m/s以上に発達して2月12日の深夜にトンガの首都ヌクアロファがあるトンガタブ島を直撃しました。このような大きなサイクロンがトンガタブ島を通過したのは60年ぶりだそうで、ほとんどの人は初めての経験のようでした。

サイクロンGitaの接近した2月12日は日中から次第に風が強くなり、首都には非常事態宣言が出されて、夜間は外出禁止となりました。サイクロンの眼が首都ヌクアロファのすぐ南側を通過し、瞬間最大風速は首都で50m/sを超えました。

私たちは、その日自宅の戸締りをしっかりしてから、日本大使館とJICAオフィスが入った、トンガでは最も強固なビルの一つに避難しました。

夜の10時を過ぎたころから猛烈な雨風がビルに吹き付け、非常用の電源も故障してしまったため、懐中電灯の明かりだけの暗い部屋で暴風雨の収まるのを待ちました。ビルの窓枠が一部外れ、そこから雨風が入り込みました。ビルの真ん中の部屋に避難していた私たちの天井からも水が漏れてきました。

外は真っ暗ですが、ものすごい風と雨が吹き付け、木々が大きく揺れ動いているのがわかりました。時々木の折れる音や物がぶつかる音が聞こえてきました。

しっかりと固定されていると思われていた窓枠の隙間から水が浸み込んで、窓際の床が濡れてきました。

次の日の朝6時を過ぎて、少しずつ外の様子が見られるようになって、初めての印象は、「周りの見通しがずいぶんよくなった。」ということでした。昨日まで木々に遮られて見えなかった遠くの教会の屋根や中海が、木々の枝が折れたために見えるようになっていたのです。

下を見ると、電線が地上に垂れ下がり、どこからか飛んできたトタン屋根が道路をふさいでいました。

家に帰ると自宅は無事でしたが、どこから吹き込んだか床が水浸しになっていました。すべての家が我が家と同じように何らかの被害を受けており、屋根が飛んで無くなった家や壊れて商品が一面に散らばっている商店などもたくさんありました。

私の活動する気象局では職員のほぼ全員がサイクロン来襲の夜に勤務していました。でも事務所

はサイクロンによる被害を受け、天井が一部壊れて、そこから水が流れ込み、床が水浸しになったようです。猛烈な風雨で、気象観測や予報作業も一時不可能になり、気象観測器材にも壊れたものがあります。

気象局の事務所は空港の国内線のターミナルがある建物とつながっているのですが、国内線の建物は屋根が飛び、チェックインカウンターなどが水浸しになって、使用不能となってしまいました。国内線の離発着は 2 か月近くたった今でも国際線のターミナルビルを利用しています。まだ建物の修理も始まっておらず、国内線ターミナルがいつ再開されるかわかりません。気象局がある一画だけ軽い被害で済んだのが奇跡的でした。

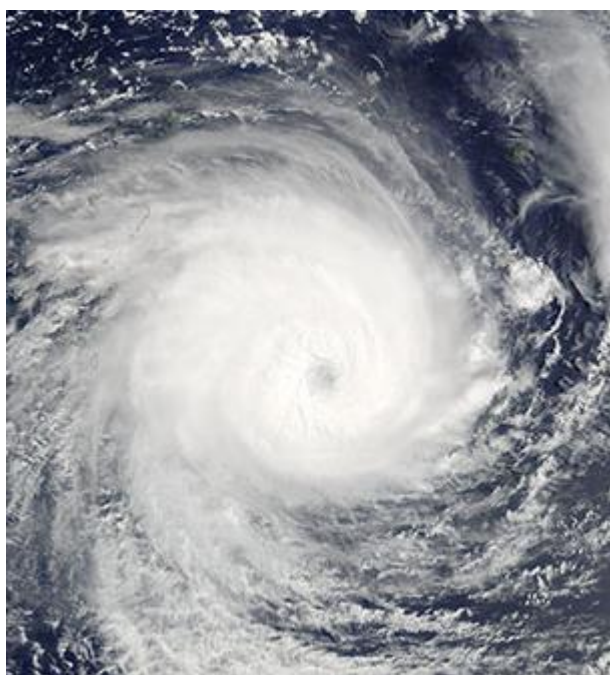
我が家で電気が回復したのはサイクロン通過の 10 日後でした。我が家は 2 階にあるため停電になると水道が使えなくなります（モーターで水を汲み上げているため）。このため、停電の間私たち夫婦は毎日何回も水を 2 階に運ばなければなりません。肉は冷蔵庫が機能していないために購入できず、シャワーを浴びることもできませんでした。

でも、トンガの人々は元気で復旧作業に当たっていました。子供たちが朝早く道路沿いに散らかった木々の清掃をしているのを見た時はその健気さに涙の出る思いでした。チェーンソーで倒木を取り除く作業をする音が一日中聞こえていました。

現在、日本、ニュージーランド、オーストラリア、中国など各国から支援が続々と寄せられています。

前向きで楽観的なトンガ人の性格で、必ずトンガは復興するでしょう。皆さんも親日国トンガへの支援をよろしくお願いします。

停電で暗くなった夜空に南半球の星々がきれいに見えました。



2月14日のサイクロン Gita 最盛期の雲画像：NASA、MODIS の画像より

トンガは南半球なので、渦の巻き方が台風とは逆です。



屋根が飛ばされて無残な姿の国内線専用ターミナル



チェックインカウンター付近は屋根が飛ばされ、天井が抜けて、無残な姿です。